

・ 耕畜連携について

・ 農福連携について



日本共産党安中市議団

はらだ だい
原田 大



詳しい内容は
こちら

一般的に「縦割り行政」と揶揄されるように、現在の行政課題の多くは複合的要因によるものであり、部門や担当者間の密なコミュニケーションによる連携の重要性が増しています。そこで農業にまつわる2つの「連携」を取り上げました。1つが稲作農家と畜産農家が連携し循環型農業と環境負荷軽減に大いに貢献できる「耕畜連携」そしてもう1つが農業と障害者福祉が連携することで、両者の課題が同時解決できる「農福連携」です。この2つの連携に共通するのが、いずれもこの言葉が生まれてから10年以上経過したにも関わらず、広がり欠けるという点です。2つの連携ともに理念は素晴ら

しいものの、このままでは一過性のもので終わってしまうという危機感を私は抱いています。担当の違う、立場の違うもの同士の連携は、意識して行わなければ前進できません。この2つの連携について、本市がどのように進めているのか質問しました。



農福連携の作業風景

・ 包括的性教育について

・ 市と民間との連携、協力体制について

包括的性教育とは、身体や生殖の仕組みだけでなく、人間関係や性の多様性、ジェンダー平等など幅広いテーマを含む教育で、性に関する自分たちの権利、社会の状況、構造を知り、その上で意思決定をしたり、自分たちの権利保障について意見表明をしたりして、自他の幸福を実現していくための手助けをすることを目指しています。子どもたちを性被害や性暴力の被害者や加害者、傍観者にしないためにも学校教育での指導や生命の安全教育、それらの研修等について伺いました。

持続可能な行政運営を行うためにも、行政と民間の垣根を越えて課題解決に向かうことの重要性を認識す

ることは、いまや必要不可欠です。現在行っている企業等との連携をさらに深めて新たな連携体制の構築を行い、企業や学校、医療福祉施設等の訪問を通して課題を整理し、市長自らが声を聞き、施策実現に取り組むよう質問しました。



企業との地域活性化に関する包括連携協定によるカーシェアリング



新風新政会
さとう たかお
佐藤 貴雄



詳しい内容は
こちら